
成田市市民課住民記録入力等
業務委託提案評価基準

令和3年5月
成田市市民生活部市民課

成田市市民課住民記録入力等業務委託 提案評価基準

1 目的

この基準は、成田市市民課住民記録入力等業務委託に係る公募型プロポーザルにおける提案事業者のうちから、成田市にとって最も有利な者を選定するため、必要な事項を定めるものとします。

2 事業者選定方法

プロポーザル参加者が提出した企画書及びプレゼンテーション等の内容について、提案上限額内の見積価格で提案した者のうち、成田市市民課住民記録入力等業務委託公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）が「3 評価方法」に定める評価方法に基づき評価し、総評価点が最も高い提案者を候補者として選定します。（「4 最低基準点」に定める最低基準点未満の者を除きます。）

なお、最高得点者が複数となった場合には、見積価格がより安価である者の提案を採用することとし、当該見積価格も同額である場合には、くじ引きにより候補者として選定することとします。

3 評価方法

審査委員会の委員は、別表「成田市市民課住民記録入力等業務委託 評価基準表」に基づき、提案者ごとの評価点を算出し、各委員の評価点の合計を委員の数で除した数値を総評価点とします。なお、算出した際に小数点以下の数値が生じた場合は、小数点以下第1位で四捨五入するものとします。

(1) 提案評価点

評価項目（No.16 の価格評価点は除く）の配点は、10点又は5点の項目があります。

評価項目ごとの評価は、5段階評価とし、各段階の配点は、以下のとおりとします。

段階	提案の評価状態	配点	
		10点	5点
A	非常に優れた提案	10点	5点
B	優れた提案	7点	4点
C	標準的な提案	5点	3点
D	やや低い水準の提案	3点	2点
E	低い水準の提案	1点	1点

(2) 価格評価点

別表「成田市市民課住民記録入力等業務委託 評価基準表」No.16の価格評価点は、以下の方法で算出します。

$(\text{最も安価な事業者の見積額}) \div (\text{当該事業者の見積額}) \times 10$

なお、計算結果において小数点以下の数値が生じた場合は、小数点以下第1位で四捨五入とします。

4 最低基準点

総評価点のうち提案評価点の満点(180点)の6割以上の点(108点)を最低基準点とします。

5 失格要件

No.11の賠償責任能力、No.12のセキュリティ対策、No.14のプライバシーマーク等の取得状況について、評価点が付されない場合、参加資格要件に達していないものと見なし、失格となります。

成田市市民課住民記録入力等業務委託 提案評価基準

別表「成田市市民課住民記録入力等業務委託 評価基準表」

No.	大分類	中分類	小分類	評価基準	評価指標	配点
1	業務理解度及び業務実績	業務理解度	入力業務等の精通度	自治体の入力業務等委託について会社としての認識が深いかな	業務方針等及び業務執行計画における提案から評価	10
2		業務実績	入力業務等の実績	入力業務の実績が2年以上あるかな	届出等に基づく入力、証明書等出力及び戸籍システム入力支援の委託請負実績数から評価	10
3	業務体制	人材の確保	業務従事者の配置人数等	業務を行ううえで適切かつ十分な業務従事者が配置されるかな	業務配置人数及びシフトローテーション等から評価	10
4			実務経験者の配置	契約期間内において実務に精通した業務従事者が配置されるかな	経験者の配置割合及び管理責任者等の選定方針から評価	10
5			地域の活性化	市内に在住している者の雇用に配慮がなされているかな	業務従事者の採用方針及び雇用保障から評価	5
6		人材の育成	研修体制	業務従事者に対する住民基本台帳法、戸籍法等の関連法令及びシステム操作に関する技能の向上について研修体制が確立しているかな	業務従事者の事前研修体制から評価	10
7			人材育成策	研修効果を高めるため等の人材を育成するための取組みが確立しているかな	研修のほか人材育成のための取組みから評価	10
8	危機管理体制	連絡体制	欠員補充体制	欠員が生じた場合においても業務に支障をきたさない体制が確立しているかな	シフトローテーション及び危機管理体制から評価	10
9			連絡体制	管理責任者等を通じ絶えず受託者と連絡が取れる体制が確立しているかな 管理責任者等が適格に配置職員を把握し業務従事者と連絡が取れる体制が確立しているかな	市との連絡体制や現場とのバックアップ体制から評価	10
10			誤入力の防止	誤入力を防ぐための措置がとられているかな	過去の業務実績における誤入力防止についての取組みから評価	10

成田市市民課住民記録入力等業務委託 提案評価基準

11	業務体制	危機管理体制	賠償責任能力	事故等が発生した場合の賠償責任能力が担保されているか（人、物、情報に対する賠償責任能力）	危機管理体制及び賠償責任保険証及び補償内容が分かる書類の写しから評価	5
12	個人情報等管理		セキュリティ対策	本業務におけるセキュリティリスクについて適切に評価（推定）しており、評価したリスクに対する対応策が示されているか	セキュリティ対策から評価	5
13			セキュリティ研修	業務従事者に対する情報セキュリティに関する知識技能の向上に関する研修体制が確立しているか	個人情報等管理から評価	10
14			プライバシーマーク等の取得状況	プライバシーマーク使用許諾若しくはこれと同等の個人情報保護に関する認証、またはI SMS若しくはこれと同等のセキュリティマネジメントシステムの認証を受けているか	提出されたプライバシーマーク使用許諾若しくはこれと同等の個人情報保護に関する認証、又はI SMS若しくはこれと同等のセキュリティマネジメントシステムの認証の写しから評価	5
15			プライバシーポリシー	会社として個人情報保護方針等が規定されているか	個人情報等管理から評価	5
16	コスト		コスト評価	見積書価格を評価	見積書及び見積内訳書から評価	10
17			コスト算出根拠の明確化	業務委託全体について、算出に具体的な根拠があり、現実性があるか	見積書及び見積内訳書から評価	5
18	その他		特筆事項	成田市にとって有意義な提案がなされているか	企画書から評価	10
19	プレゼンテーション		取組意欲	事業参入にあたっての意欲が感じられるか		10
20			業務説明	本業務委託提案に関し、的確かつ簡潔に説明が行われているか		10
21			企画書との整合性	企画書の内容と説明又は回答に整合性があるか 説明又は回答が企画書を補完するものとなっているか		10